

令和4年度第2回神奈川県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 開催概要

- 1 開催日時 令和5年3月15日（水）14時00分～15時30分
- 2 開催場所 関東職業能力開発促進センター201会議室
- 3 主な議題
 - ・令和4年度事業実施状況について
 - ・令和5年度事業計画について

4 議事経過

各委員からの主な意見等は以下のとおり。

【離職者訓練】

- ・入所率が低いコースもあるが、これらのコースは職人的な要素があり、今後人材が減少していくことにより、日本が持っていた技術力、基礎的な部分がだんだん不安な状況になっていくのではないか。
- ・広報関係は、色々なツールを使ったり、ハローワークでビデオを放映したり、見える形で進んでいる。急激に応募者が増える訳ではないかもしれないが、引き続き着実に一定レベルを維持しながら取り組んでいただきたい。

【在職者訓練】

- ・在職者訓練の満足度で、訓練の内容が業務に繋がらなかったという点については、企業側が訓練を受講させることによって何を得たいのかという目的意識を明確にして受講させるという意識が不十分なのではないか。訓練を受講することによってどのような技能・技術が習得できるかをPRし、きちんと企業側に理解してもらうことでより正当な評価が得られるものとする。
- ・オンラインを活用し施設間で連携して行う訓練（遠方の施設でのeラーニングによる座学と通所できる施設での実技とを組み合わせた訓練）は良い取組である。eラーニングによる訓練メニューを複数用意しておけば、同様の取組が日本全国で幅広く展開できるのではないか。

【高度職業訓練】

- ・正社員就職率100%が続いており、求人倍率の方が非常に高いが、一方で応募者を増やすということに関しては、大きな課題になっている。

神奈川県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会委員

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (4名)	三井 逸友 (会長)	横浜国立大学名誉教授
	名和 聖高	愛知大学名誉教授
	萩原 常康	日産モノづくり大学校長
	吉田 勝行	神奈川新聞社統合編集局次長 兼経済部長 兼編集総務部長
労働者代表 (2名)	新 敦	U Aゼンセン神奈川県支部長
	金井 克之	連合神奈川副事務局長
中小企業等代表 (3名)	二見 稔	神奈川県経営者協会専務理事
	大竹 准一	神奈川県中小企業団体中央会副会長兼専務理事
	伊東 祐治	神奈川県商工会連合会専務理事
行政機関 (3名)	仙田 亮	神奈川労働局職業安定部長
	木本 睦子	神奈川労働局雇用環境・均等部長
	井上 秀夫	神奈川県産業労働局労働部産業人材課長